

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.2
2. 第2四半期（中間期） 業績のポイント（連結）	P.3
3. 第2四半期（中間期） 業績の状況（連結）	P.4
4. 第2四半期（中間期） 業績と予想（連結）	P.5
5. 主要製品の状況	P.6
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）	P.7
7. 開発品一覧	P.8～10

【参考資料】

8. 損益計算書の概要（連結）	P.12～13
9. 貸借対照表の概要（連結）	P.14
10. 主な業績項目の推移（連結）	P.15
11. 杏林製薬資料	P.16～19

2025年11月7日
杏林製薬株式会社



■ 将来の見通しに関する注意事項

本資料には、当社グループに関する業績見通しや目標・計画等、将来に関する事項が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報や予測に基づく、当社グループの仮定や見通し等の判断によるものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しております。したがって、その後発生した種々の要因により、実際の業績や開発品の進捗・成否、その他の見通し等が記述内容と大きく異なる可能性があります。また医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その記述は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算概観（連結）



（単位：百万円）	23年3月期 中間期	24年3月期 中間期	25年3月期 中間期	26年3月期 中間期	対前年 （%）	26年3月期 （予想）	対前期 （%）
売上高	49,093	54,937	55,139	58,731	+6.5	127,000	-2.4
営業利益	777	1,335	1,549	1,363	-12.0	6,100	-51.5
経常利益	1,171	1,578	2,050	1,582	-22.8	6,300	-52.3
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	1,242	1,890	1,255	1,494	+19.0	4,800	-47.2

26年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績（実績）

【売上高】 当社グループ全体の売上高は587億31百万円と前年同期比35億92百万円の増収となりました。新医薬品等（国内）の売り上げは、薬価改定の影響はあったものの、積極的な新薬の普及に努め、主力製品である「ベオーバ」、「ラスビック」、「リフヌア」等が伸長したことにより、前年同期を上回る実績で推移しました。また後発医薬品の売り上げは、2024年度追補収載品の売上寄与、長期収載品の選定療養等の影響により、増加しました。

【利益】 売上の増加により、売上総利益は248億96百万円と前年同期に対して13億31百万円増加しました。他方、導入品獲得に伴う研究開発費の増加等により、販売費及び一般管理費が前年同期に対して15億17百万円増加（うち、研究開発費は15億99百万円増加）した結果、営業利益は13億63百万円と前年同期比1億85百万円減少（前年同期比12.0%減）し、経常利益は15億82百万円（前年同期比22.8%減）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益等を特別利益に計上したことにより、14億94百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

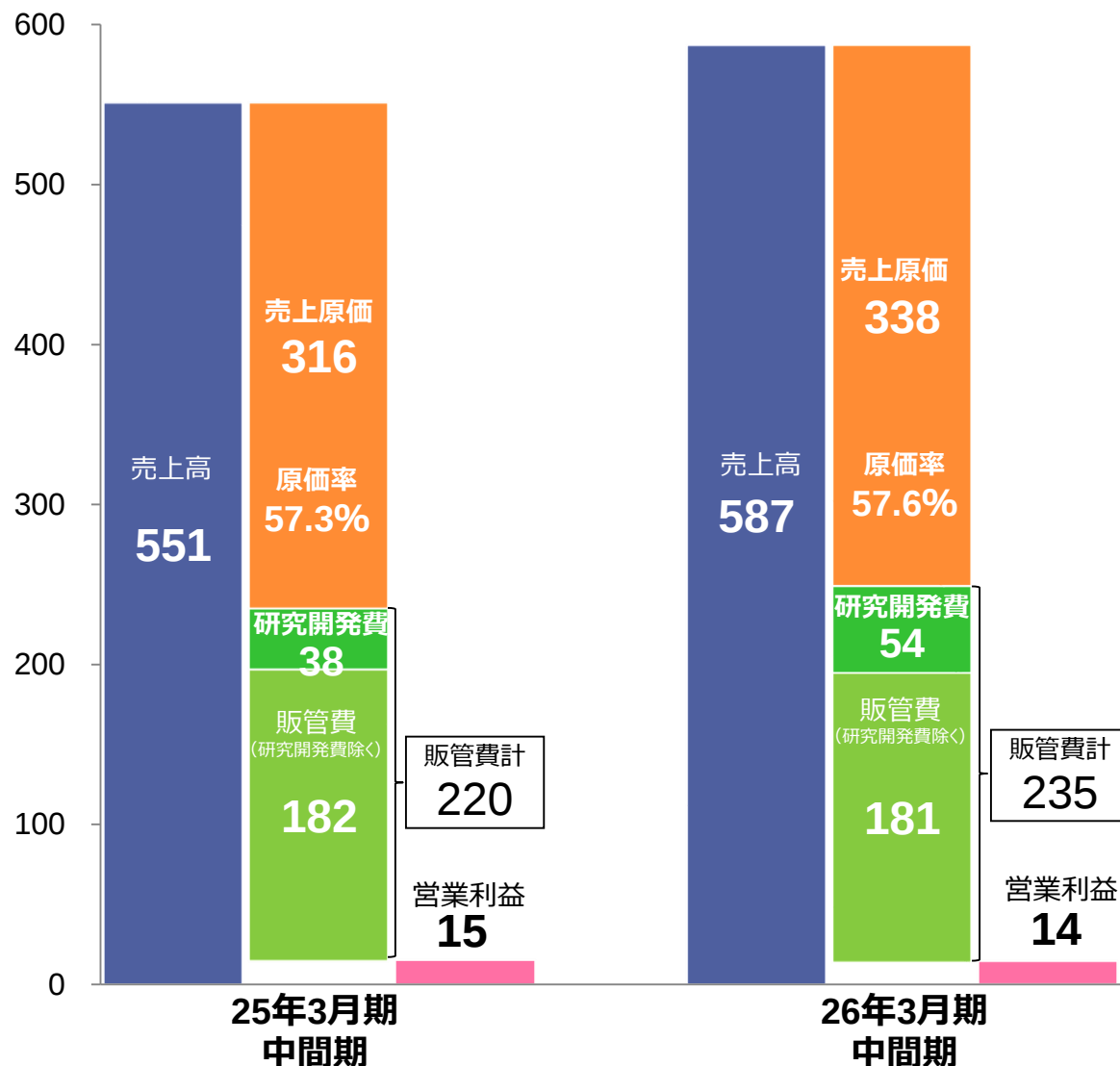
26年3月期 連結業績（予想）

現時点におきまして、2025年5月12日に公表した通期の業績予想を変更しておりません。
また2025年5月12日に公表した配当予想（年間57円／株）の変更はございません。

※2025年3月期より会計方針の変更を行っており、2024年3月期に係る数値については遡及修正後の数値を記載しております。

2026年3月期 第2四半期（中間期） 業績のポイント（連結）

（単位：億円）



【ポイント】

売上高は増加（+ 36億円）

- 新医薬品等（国内）の売上増加
・新薬（ベオーバ、ラスビック、リフヌア等）の伸長
- 後発医薬品の売上増加

売上原価率は0.3ポイント上昇

【上昇要因】

- 薬価改定（杏林製薬5%台）
- 後発医薬品の売上増加

【低下要因】

- 新薬（ベオーバ、ラスビック、リフヌア等）の売上増加

売上総利益は増加（+ 13億円）

販管費は15億円増加

- 研究開発費は16億円増加
・導入品の契約一時金支出（KRP-A225）15億円
- 販管費（研究開発費除く）は1億円減少
・本社移転等によるコスト削減、特許等使用料の増加等

営業利益は減少（－ 1億円）

2026年3月期 第2四半期（中間期） 業績の状況（連結）



(単位：億円)	25年3月期 中間期	26年3月期 中間期	対前年 (額)
売上高	551	587	+ 36
新医薬品等(国内)	390	414	+ 24
新医薬品(海外)	4	5	+ 1
後発医薬品	157	168	+ 11
営業利益	15	14	- 1
経常利益	21	16	- 5
親会社株主に帰属する 中間純利益	13	15	+ 2

		(対前年)	(対予想) 2025年5月12日発表
■売上高	587億円	(+ 36)	(+ 13)
●新医薬品等（国内）	414億円	(+ 24)	(+ 7)
	25.3 (2Q) 26.3 (2Q)		
・ベオーバ	104 ⇒ 123	(+ 19)	(+ 7)
・ラスビック	30 ⇒ 35	(+ 5)	(- 2)
・リフヌア	4 ⇒ 5	(+ 1)	(0)
・デザレックス	34 ⇒ 37	(+ 3)	(+ 1)
・フルティフォーム	64 ⇒ 63	(- 1)	(+ 1)
・ベンタサ	62 ⇒ 63	(+ 1)	(+ 4)
・キプレス	18 ⇒ 9	(- 9)	(+ 1)
・ムコダイン	15 ⇒ 20	(+ 5)	(- 2)
●新医薬品（海外）	5億円	(+ 1)	(+ 4)
	ガチフロキサシンに関わる収入等		
●後発医薬品	168億円	(+ 11)	(+ 3)
	2024年度追補収載品の売上寄与、長期収載品の選定療養等の影響		
■営業利益	14億円	(- 1)	(- 3)
●原価率：57.6%（前年同期：57.3%）			
【上昇要因】薬価改定、後発医薬品の売上増加			
【低下要因】新薬（ベオーバ、ラスビック、リフヌア等）の売上増加			
●研究開発費：54億円（前年同期：38億円）			
導入品の契約一時金支出（KRP-A225）15億円			
●販管費（研究開発費除く）：181億円（前年同期：182億円）			
本社移転等によるコスト削減、特許等使用料の増加等			
■親会社株主に帰属する 中間純利益	15億円	(+ 2)	(+ 1)
●特別利益：5億円			
投資有価証券売却益4億円等			

2026年3月期 第2四半期（中間期） 業績と予想（連結）

(単位：百万円)	中間期					通期		
	25年3月期	26年3月期	対前年 (額)	対前年 (%)	26年3月期 (予想)	対予想 (額)	25年3月期	26年3月期 (予想)
売上高	55,139	58,731	+ 3,592	+ 6.5	57,400	+ 1,331	130,087	127,000
新医薬品等（国内）	39,029	41,405	+ 2,376	+ 6.1	40,700	+ 705	84,158	89,000
新医薬品（海外）	424	504	+ 79	+ 18.8	100	+ 404	8,860	200
後発医薬品	15,686	16,822	+ 1,136	+ 7.2	16,500	+ 322	37,068	37,700
営業利益	1,549	1,363	− 185	− 12.0	1,700	− 337	12,567	6,100
経常利益	2,050	1,582	− 467	− 22.8	1,800	− 218	13,219	6,300
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	1,255	1,494	+ 238	+ 19.0	1,400	+ 94	9,086	4,800

2026年3月期 第2四半期（中間期） 主要製品の状況

(単位：億円)		中間期							通期		
		24年3月期	25年3月期	26年3月期	対前年 (額)	対前年 (%)	26年3月期 (予想)	対予想 (額)	通期 進捗率 (%)	25年3月期	26年3月期 (予想)
新医薬品等 (国内)	ベオーバ (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	83	104	123	+19	+17.5	116	+7	48.9	221	251
	ラスビック (ニューキノロン系抗菌剤)	25	30	35	+5	+19.0	37	−2	41.4	78	85
	リフヌア (選択的P2X3受容体拮抗薬／咳嗽治療薬)	4	4	5	+1	+9.9	5	0	42.4	9	11
	デザレックス (アレルギー性疾患治療薬)	31	34	37	+3	+8.1	36	+1	36.3	96	101
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	62	64	63	−1	−1.1	62	+1	47.8	137	132
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	61	62	63	+1	+1.4	59	+4	54.0	122	116
	キプレス (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	26	18	9	−9	−48.9	8	+1	44.7	35	21
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	20	15	20	+5	+30.2	22	−2	38.1	36	52
	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	10	9	9	0	+0.5	9	0	51.9	18	18
	ルビスタ (環境除菌・洗浄剤)	8	6	4	−2	−31.6	5	−1	40.8	11	10
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	58	50	44	−6	−12.8	49	−5	38.9	120	113
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	9	7	11	+4	+58.6	8	+3	26.0	41	43

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

（単位：百万円）	23年3月期 中間期	24年3月期 中間期	25年3月期 中間期	26年3月期 中間期	対前年 （%）	25年3月期	26年3月期 （予想）
研究開発費	4,498	3,842	3,844	5,443	+ 41.6	10,514	10,400
設備投資	3,882	1,280	4,203	2,494	− 40.7	6,153	4,700
減価償却費	1,907	2,172	2,307	2,278	− 1.3	4,603	4,700

設備投資の詳細（実績／予想）

（単位：億円）	25年3月期 中間期	26年3月期 中間期	25年3月期	26年3月期 （予想）
工場設備	36	24	46	40
管理・販売設備	3	0	9	2
研究用設備	3	1	6	5

開発品一覧①（2025年11月7日現在）

Ph3 ～ 発売

開発段階		製品名／ 開発コード	予定適応症／ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph3 自社 (22年9月)	Ph3 エイタイヤー社	KRP-R120	間質性肺疾患 (肺サルコイドーシス)	エイタイヤー社 (アメリカ)	融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2受容体（NRP2）に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される	

POCプロジェクト（Ph1 ～ Ph2）

開発段階		開発コード	予定適応症／ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
	Ph1終了 バイエル社	KRP-S124 (BAY2925976)	閉塞性睡眠時無呼吸 等	バイエル社 (ドイツ)	ADRA2C拮抗作用を有し、中枢性に上気道虚脱を軽減し、閉塞性睡眠時無呼吸に見られる一時的な無呼吸・低呼吸を改善することが期待される	・BAY2925976及びそのバックアップ化合物について、全世界を対象とした独占的製造、開発、販売権に関するライセンス契約を締結（24年12月） ・Ph2準備中
Ph1 自社 (22年8月)	—	KRP-114VP	過活動膀胱	メルク社 (アメリカ)	膀胱平滑筋に存在するβ3アドレナリン受容体を選択的に刺激し、膀胱を弛緩させることで蓄尿機能を亢進し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する	・ベオーバの小児への適応拡大 ・Ph1終了

開発品一覧②（2025年11月7日現在）

POCプロジェクト（Ph1 ～ Ph2）

※前回（2025年7月31日）からの更新

開発段階		開発コード	予定適応症／ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
	Ph1準備中 ヒンジバイオ社	KRP-A225※ (HB2198)	全身性エリテマトー デス（SLE）等	ヒンジバイオ社 （アメリカ）	B細胞表面上のCD19及びCD20 分子を標的とする二重特異性抗体。 B細胞の除去により免疫システムを 「リセット」することで、SLEへの治療 効果が期待される	・HB2198について、日本における共同開発 及び販売に関するライセンス契約を締結 （25年9月） ・ヒンジバイオ社Ph1試験準備中 （25年開始予定）

※KRP-A218は開発戦略上の理由から開発中止を決定し、一覧から削除しました

導出品の状況

開発 段階	製品名／ 開発コード	導出先	予定適応症／ 対象疾患	起 源	特 徴	備 考
Ph3 プリオセラ社	KRP-203	プリオセラ社 （アイルランド）	—	自社	S1P受容体アゴニスト	・本剤の開発・販売等に要する特許・データ等の 知的財産及び原薬等を譲渡（20年9月）
前臨床	KRP-M223	バルティス社 （スイス）	マスト細胞が関与 する慢性特発性 蕁麻疹などのアレ ルギー性疾患や炎 症性疾患	自社	MRGPRX2 拮抗薬	・KRP-M223及びそのバックアップ化合物につい て、全世界を対象とした独占的な開発、製造、 及び商業化に関するライセンス契約を締結 （25年3月） ・当社は日本における商業化及び日本向けの 製造に関するオプションを保有

その他：（2025年11月7日現在）

DTxの状況

※前回（2025年7月31日）からの更新

契約先	開発コード	予定適応症／対象疾患	備考
サスメド(株)	KRP-DT123	耳鳴	・耳鼻科領域における治療用アプリの共同研究開発及び販売に関する契約を締結（22年11月） ・検証的試験準備中※
ハイツ社 （アメリカ）	KRP-DC125	慢性咳嗽	・慢性咳嗽治療用アプリに関する「開発・商業化契約」を締結 ・検証的試験準備中

オプション契約

開発段階		開発コード	予定適応症／対象疾患	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
—	Ph1実施中 ビオドール社	BDT272	慢性疼痛等	ビオドール社 （フランス）	神経障害性疼痛などの慢性疼痛の発症と持続に深く関与するFLT3（受容体型チロシンキナーゼファミリー）を阻害することで、効果的な鎮痛作用を発揮することが期待される	・日本及びアジア地域（中国を除く）における開発・販売権のライセンスに係るオプション契約を締結（25年1月）
—	Ph2実施中 シラーノ社	CYR-064	感冒後嗅覚障害	シラーノ社 （アメリカ）	テオフィリン含有点鼻製剤であり、非特異的ホスホジエステラーゼ阻害作用によりcAMPの分解を抑制し、細胞内濃度を上昇させて神経の興奮性を高める	・日本における開発・販売権のライセンスに係るオプション契約を締結（25年2月）

【参考資料】

損益計算書の概要（連結）－①

(単位：百万円)	25年3月期 中間期		26年3月期 中間期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	55,139	100.0	58,731	100.0	+ 6.5	+ 3,592
新医薬品等（国内）	39,029	70.8	41,405	70.5	+ 6.1	+ 2,376
新医薬品（海外）	424	0.8	504	0.9	+ 18.8	+ 79
後発医薬品	15,686	28.4	16,822	28.6	+ 7.2	+ 1,136

<当期のポイント> (対前年)

■ 売上高 58,731百万円 (+ 3,592)

● 新医薬品等（国内） 41,405百万円 (+ 2,376)

(億円)	25.3 (2Q)		26.3 (2Q)	
・ベオーバ	104	⇒	123	(+ 19)
・ラスビック	30	⇒	35	(+ 5)
・リフヌア	4		5	(+ 1)
・デザレックス	34	⇒	37	(+ 3)
・フルティフォーム	64	⇒	63	(- 1)
・ペンタサ	62	⇒	63	(+ 1)
・キプレス	18	⇒	9	(- 9)
・ムコダイン	15	⇒	20	(+ 5)

● 新医薬品（海外） 504百万円 (+ 79)

・ガチフロキサシンに関わる収入等

● 後発医薬品 16,822百万円 (+ 1,136)

・2024年度追補収載品の売上寄与
・長期収載品の選定療養等の影響

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社2社： キョーリン リメディオ(株)
キョーリン製薬グループ工場(株)
持分法適用会社1社： 日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要（連結）－②

(単位：百万円)	25年3月期 中間期		26年3月期 中間期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	55,139	100.0	58,731	100.0	+6.5	+3,592
売上原価	31,575	57.3	33,835	57.6	+7.2	+2,260
売上総利益	23,564	42.7	24,896	42.4	+5.7	+1,331
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	22,015 (3,844)	39.9 (7.0)	23,532 (5,443)	40.1 (9.3)	+6.9 (+41.6)	+1,517 (+1,599)
営業利益	1,549	2.8	1,363	2.3	-12.0	-185
営業外収益	571	1.0	402	0.7	-29.5	-168
営業外費用	69	0.1	184	0.3	+163.5	+114
経常利益	2,050	3.7	1,582	2.7	-22.8	-467
特別利益	0	0.0	473	0.8	—	+473
特別損失	181	0.3	26	0.0	-85.3	-154
税金等調整前 中間純利益	1,869	3.4	2,029	3.5	+8.6	+160
法人税等	613	1.1	535	0.9	-12.8	-78
親会社株主に帰属 する中間純利益	1,255	2.3	1,494	2.5	+19.0	+238

<当期のポイント> (対前年)

◆売上原価率：57.6% (+0.3ポイント)

【上昇要因】

・薬価改定（杏林製薬5%台）、後発医薬品の売上増加

【低下要因】

・新薬（ベオーバ、ラスビック、リフヌア等）の売上増加

◆研究開発費率：9.3% (+2.3ポイント)

・54億円（前年同期比：16億円増加）

導入品の契約一時金支出（KRP-A225）15億円

◆販管費率（研究開発費除く）：30.8% (-2.2ポイント)

・181億円（前年同期比：1億円減少）

本社移転等によるコスト削減、特許等使用料の増加等

■営業利益：1,363百万円 (-185百万円)

■経常利益：1,582百万円 (-467百万円)

■特別利益：473百万円 (+473百万円)

・投資有価証券売却益368百万円等

■親会社株主に帰属
する中間純利益：1,494百万円 (+238百万円)

■配当（中間） 20円00銭/株

貸借対照表の概要（連結）

(単位：百万円)	25年3月期末		26年3月期 中間期末		
	実 績	構成比 (%)	実 績	構成比 (%)	前期末増減
流動資産	136,134	70.3	130,333	70.1	－5,801
現金及び預金	15,021		13,042		
受取手形、売掛金及び契約資産	47,583		37,816		
有価証券	1,493	—	2,089	—	—
棚卸資産	65,731		71,559		
その他の流動資産	6,304		5,826		
固定資産	57,483	29.7	55,679	29.9	－1,803
有形固定資産	30,303		30,028		
無形固定資産	4,757	—	4,396	—	—
投資その他の資産	22,422		21,254		
資産合計	193,618	100.0	186,013	100.0	－7,605
流動負債	35,111	18.1	27,756	14.9	－7,355
支払手形及び買掛金	15,517		13,847		
その他の流動負債	19,594	—	13,908	—	—
固定負債	22,221	11.5	21,809	11.7	－412
負債合計	57,333	29.6	49,565	26.6	－7,768
株主資本	130,892	67.6	130,241	70.0	－651
その他の包括利益累計額	5,392	2.8	6,206	3.3	＋814
その他有価証券評価差額金	5,544		6,103		
繰延ヘッジ損益	13	—	127	—	—
退職給付に係る調整累計額	－166		－25		
純資産合計	136,285	70.4	136,448	73.4	＋163
負債純資産合計	193,618	100.0	186,013	100.0	－7,605

＜当期のポイント＞ (対前期末)

■ 流動資産：5,801百万円減

- ・現金及び預金の減少 (－1,979百万円)
- ・受取手形、売掛金及び契約資産の減少 (－9,767百万円)
- ・有価証券の増加 (+595百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+5,828百万円)
- ・その他の流動資産の減少 (－478百万円)

■ 固定資産：1,803百万円減

- ・有形固定資産の減少 (－275百万円)
- ・無形固定資産の減少 (－360百万円)
- ・投資その他の資産の減少 (－1,167百万円)

■ 流動負債：7,355百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (－1,669百万円)
- ・その他の流動負債の減少 (－5,685百万円)

■ 固定負債：412百万円減

主な業績項目の推移（連結）

(単位：百万円)	24年3月期 中間期	25年3月期 中間期	26年3月期 中間期
売上高	54,937	55,139	58,731
（海外売上）	(167)	(424)	(504)
売上原価	31,101	31,575	33,835
（売上原価率）	(56.6%)	(57.3%)	(57.6%)
販売費及び一般管理費	22,500	22,015	23,532
（販管費率）	(41.0%)	(39.9%)	(40.1%)
うち研究開発費	3,842	3,844	5,443
（研究開発費率）	(7.0%)	(7.0%)	(9.3%)
営業利益	1,335	1,549	1,363
（営業利益率）	(2.4%)	(2.8%)	(2.3%)
経常利益	1,578	2,050	1,582
（経常利益率）	(2.9%)	(3.7%)	(2.7%)
中間（当期）純利益	1,890	1,255	1,494
（中間（当期）純利益率）	(3.4%)	(2.3%)	(2.5%)
一株当たり利益	32.97円	21.86円	26.01円
資本金	700	700	700
総資産	176,102	178,865	186,013
純資産	126,158	130,027	136,448
一株当たり純資産	2,196.01円	2,263.36円	2,375.01円
自己資本利益率	1.4%	1.0%	1.1%
自己資本比率	71.6%	72.7%	73.4%
人員	2,156人	2,048人	2,010人
設備投資	1,280	4,203	2,494
減価償却費	2,172	2,307	2,278

25年3月期	26年3月期 （予想）
130,087	127,000
(8,860)	(200)
70,551	—
(54.2%)	—
46,967	—
(36.1%)	—
10,514	10,400
(8.1%)	(8.2%)
12,567	6,100
(9.7%)	(4.8%)
13,219	6,300
(10.2%)	(5.0%)
9,086	4,800
(7.0%)	(3.8%)
158.17円	83.55円
700	—
193,618	—
136,285	—
2,372.29円	—
6.8%	—
70.4%	—
1,998人	—
6,153	4,700
4,603	4,700

※ 2025年3月期より会計方針の変更を行っており、2024年3月期に係る数値については遡及修正後の数値を記載しております。

損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	25年3月期 中間期		26年3月期 中間期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	48,563	100.0	51,652	100.0	+6.4	+3,088
新医薬品等（国内）	38,239	78.7	40,942	79.3	+7.1	+2,703
新医薬品（海外）	424	0.9	504	1.0	+18.8	+79
後発医薬品	9,899	20.4	10,205	19.8	+3.1	+305

<当期のポイント>

(対前年)

■売上高 51,652百万円 (+3,088)

●新医薬品等（国内） 40,942百万円 (+2,703)

(億円)	25.3 (2Q)	⇒	26.3 (2Q)	
・ベオーバ	104	⇒	123	(+19)
・ラスビック	30	⇒	35	(+5)
・リフヌア	4	⇒	5	(+1)
・デザレックス	34	⇒	37	(+3)
・フルティフォーム	64	⇒	63	(-1)
・ペンタサ	62	⇒	63	(+1)
・キプレス	18	⇒	9	(-9)
・ムコダイン	15	⇒	20	(+5)

●新医薬品（海外） 504百万円 (+79)

・ガチフロキサシンに関わる収入等

●後発医薬品 10,205百万円 (+305)

損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	25年3月期 中間期		26年3月期 中間期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	48,563	100.0	51,652	100.0	+6.4	+3,088
売上原価	26,247	54.0	27,810	53.8	+6.0	+1,563
売上総利益	22,316	46.0	23,841	46.2	+6.8	+1,525
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	20,228 (3,415)	41.7 (7.0)	21,796 (4,955)	42.2 (9.6)	+7.8 (+45.1)	+1,567 (+1,539)
営業利益	2,087	4.3	2,045	4.0	-2.0	-42
営業外収益	626	1.3	518	1.0	-17.2	-107
営業外費用	57	0.1	124	0.2	+116.6	+67
経常利益	2,656	5.5	2,439	4.7	-8.2	-217
特別利益	0	0.0	373	0.7	—	+373
特別損失	125	0.3	5	0.0	-95.6	-119
税金等調整前 中間純利益	2,530	5.2	2,807	5.4	+10.9	+276
法人税等	693	1.4	697	1.4	+0.6	+4
親会社株主に帰属 する中間純利益	1,837	3.8	2,109	4.1	+14.8	+272

<当期のポイント> (対前年)

◆ 売上原価率：53.8% (－0.2ポイント)

【低下要因】

・新薬（ベオーバ、ラスビック、リフヌア等）の売上増加

【上昇要因】

・薬価改定（杏林製薬5%台）

◆ 研究開発費率：9.6% (+2.6ポイント)

・50億円（前年同期比：16億円増加）

導入品の契約一時金支出（KRP-A225）15億円

◆ 販管費率（研究開発費除く）：32.6% (－2.0ポイント)

・168億円（前年同期比：横ばい）

本社移転等によるコスト削減、特許等使用料の増加等

■ 営業利益：2,045百万円 (－42百万円)

■ 特別利益：373百万円 (－373百万円)

・投資有価証券売却益368百万円等

■ 中間純利益：2,109百万円 (+272百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	25年3月期末		26年3月期 中間期末		
	実 績	構成比 (%)	実 績	構成比 (%)	前期末増減
流動資産	134,004	74.6	127,475	74.4	-6,528
現金及び預金	11,122		11,259		
売掛金及び契約資産	42,351		33,500		
有価証券	1,493	—	2,089	—	—
棚卸資産	54,240		58,262		
その他の流動資産	24,796		22,364		
固定資産	45,645	25.4	43,860	25.6	-1,785
有形固定資産	6,861		6,395		
無形固定資産	4,382	—	4,053	—	—
投資その他の資産	34,401		33,411		
資産合計	179,650	100.0	171,336	100.0	-8,313
流動負債	33,010	18.4	23,871	13.9	-9,139
買掛金	15,542		12,633		
その他の流動負債	17,468	—	11,237	—	—
固定負債	21,290	11.9	21,529	12.6	+238
負債合計	54,301	30.2	45,401	26.5	-8,900
株主資本	119,910	66.7	119,874	70.0	-35
評価・換算差額等	5,438	3.0	6,060	3.5	+622
純資産合計	125,348	69.8	125,934	73.5	+586
負債純資産合計	179,650	100.0	171,336	100.0	-8,313

<当期のポイント> (対前期末)

■ 流動資産：6,528百万円減

- ・ 現金及び預金の増加 (+137百万円)
- ・ 売掛金及び契約資産の減少 (-8,851百万円)
- ・ 有価証券の増加 (+595百万円)
- ・ 棚卸資産の増加 (+4,022百万円)
- ・ その他の流動資産の減少 (-2,432百万円)

■ 固定資産：1,785百万円減

- ・ 有形固定資産の減少 (-466百万円)
- ・ 無形固定資産の減少 (-328百万円)
- ・ 投資その他の資産の減少 (-989百万円)

■ 流動負債：9,139百万円減

- ・ 買掛金の減少 (-2,908百万円)
- ・ その他の流動負債の減少 (-6,230百万円)

■ 固定負債：238百万円増

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	24年3月期 中間期	25年3月期 中間期	26年3月期 中間期
売上高	47,673	48,563	51,652
（海外売上）	(167)	(424)	(504)
売上原価	25,198	26,247	27,810
（売上原価率）	(52.9%)	(54.0%)	(53.8%)
販売費及び一般管理費	20,594	20,228	21,796
（販管費率）	(43.2%)	(41.7%)	(42.2%)
うち研究開発費	3,344	3,415	4,955
（研究開発費率）	(7.0%)	(7.0%)	(9.6%)
営業利益	1,879	2,087	2,045
（営業利益率）	(3.9%)	(4.3%)	(4.0%)
経常利益	2,317	2,656	2,439
（経常利益率）	(4.9%)	(5.5%)	(4.7%)
中間（当期）純利益	49,331	1,837	2,109
（中間（当期）純利益率）	(103.5%)	(3.8%)	(4.1%)
一株当たり利益	858.60円	31.97円	36.71円
資本金	700	700	700
総資産	159,331	164,481	171,336
純資産	116,724	119,098	125,934
一株当たり純資産	2,031.56円	2,072.87円	2,191.74円
自己資本利益率	41.4%	1.5%	1.7%
自己資本比率	73.3%	72.4%	73.5%
人員	1,464人	1,355人	1,338人
設備投資	576	598	115
減価償却費	1,252	1,015	1,017

25年3月期	26年3月期 （予想）
115,918	111,100
(8,860)	(200)
59,667	—
(51.5%)	—
43,348	—
(37.4%)	—
9,520	9,300
(8.2%)	(8.4%)
12,902	6,300
(11.1%)	(5.7%)
13,706	6,800
(11.8%)	(6.1%)
9,382	5,100
(8.1%)	(4.6%)
163.29円	88.76円
700	—
179,650	—
125,348	—
2,181.64円	—
7.7%	—
69.8%	—
1,330人	—
1,384	600
1,983	2,000

※2025年3月期より会計方針の変更を行っており、2024年3月期に係る数値については遡及修正後の数値を記載しております。